

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	生涯学習課	担当者名 渡辺紀子
	基本事業	59	地域における子育て支援	所属班	生涯学習班	(内線) 1504
				法令根拠	合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	11
	1	10	5	7	10595			コスト削減優先度評価結果	6*13

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 平成14 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
子どもフェスティバル実行委員会への補助金の交付

【業務の流れ】
実行委員長からの補助金交付申請書を受理する。申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して実行委員長からの請求書を受け、補助金を交付する。

【主な予算費目】
負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、1,000千円の補助金を交付した。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市子どもフェスティバル実行委員会に対して、1,100千円の補助金を交付予定。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市内の子ども	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 補助金額 円 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 子どもフェスティバルを開催してもらい、子どもたちにあそび・学び・体験活動の場を提供する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 子どもの人口(4才~14才) 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域で子どもを見守り、育てていく。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 子どもフェスティバルに参加した子どもの数 人 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 0 0 0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	2,000	1,800	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100	
	(A) 事業費計	千円	2,000	1,800	1,000	1,000	1,100	1,100	1,100	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10	10	
	(B)人件費計	千円	40	40	40	40	40	40	40	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,040	1,840	1,040	1,040	1,140	1,140	1,140	
	活動指標	円	2000	1800	1000	1000	1100	1100	1100	目 標 合 計 値 画 22 年 度
	対象指標	人	6500	6500	6500	6592	6592	6600	6600	
	成果指標	人	1500	1500	1600	1785	2000	2000	2000	
	上位成果指標	%	49.7	37.1	47	34.2	46	45		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成14年度に旧合志町の子どもたちを対象に、大きな祭りを開催することになり、始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
合併前は旧合志町の子どもが対象であったが、合併後旧西合志町の子どもたちも対象になり、数は倍増した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成20年度からは補助金額が約半分に、事業を縮小せざるを得ない状況になっているが、なんとか以前の規模で実施したいとの意見もある。

事務事業名	子どもフェスティバル開催支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 子どもフェスティバルが盛大に開催され、子どもたちがあそび・学び・体験学習場を得る・つくことで地域のよさを認識できる。また、スタッフとして多数の大人が参加するため、地域で子どもを見守ることに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 学校の枠を超え、全市の子どもたちが一同に会して、地域づくりへ参加することになるので、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象・意図は現状では適切である。
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果としては一定の水準に達していると思われる。
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 子どもフェスティバルの開催ができなくなる。結果、子どもたちが広く集まる機会がなくなり、子どもたちの地域づくりへの機会が薄れる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 団体への助成金は、市全体での見直しが必要であり、それに伴い金額が削減されることも考慮しなくてはならない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 本事業に関しては必要最小限の人件費しか投入していない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 広く全市の子どもたちに参加の機会があり、公平であると思われる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性: 来場者数が増加しており、市内全域への周知が行き届いてきた。しかし、補助金については市の財政状況次第で左右されるため、与えられた範囲で最大限のフェスティバルを実施してもらうよう促す。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	既に成果として一定の基準に達していると思われる。あとは、決められた予算枠内で効率よく実施してもらうため、事業形態の見直しと効率化を再構築する時期に来ていると思われる。																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

① 総合センターでの開催なので、旧西合志地区の子どもたちがスムーズに参加できる状態を保つ配慮が必要である。
② ヴィーブル自主事業の優先的会場使用が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	6	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	6	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)